

用紙の大きさは、日本産業規格A列4とする。

委任状

令和 年 月 日

(あて先) 岡崎市長

委任者 (申請者)

住所

氏名

印

住所

氏名

印

私は次の者を代理人と定め、土地区画整理事業施行地区内建築行為等許可申請並びに補正及び許可証等の受領の一切の権限について委任します。

代理人

住所

氏名

印

土地区画整理事業施行地区内建築行為等申請（76条申請）に必要とする図書

No	図書の種類	図書の種類	図書の種類	提出部数	摘要等
		（様式第1号）	明示すべき事項等		
1	許可申請書	申請年月日 申請代理人（設計者）の氏名・電話番号 行為の場所（行為地の底地・事業名：（ブロック・ロット）等） 申請者住所・氏名・電話番号	☐	2部	・受理から工事着手までの期間を十分とってください。※申請図書の受理から許可までに約2週間程度かかります。 ・書類捺印欄には何も記入しないでください。 ・行為地の底地は地番該当証明の該当地番です。
2	委任状	（様式 有） 委任年月日 委任者（申請者）の住所・氏名・印 ※自署の場合は不要 代理人の住所・氏名	☐	2部	・申請者本人が申請する場合は不要です。
3	誓約書（組合宛）	（様式 有） 誓約年月日 宛先 申請者、施工者の住所・氏名・電話番号 行為の場所（ブロック・ロット）、工事期間	☐	1部	・施工者未定の場合は、施工者欄に「未定」と記入してください。 ※施工者が決定したら、誓約書内容を説明してください。
4	地番該当証明※1	行為の場所の着色等	☐	2部	・複数地番がある場合は、行為の場所を着色等で明示してください。
5	位置図（ブロック図）	方位 行為の場所の着色等	☐	2部	・行為の場所を着色等で明示してください。
6	出来形確認測量図 （面地原子表、面地確定原子一覧表） 仮換地図	方位 地番（ブロック・ロット） 敷地の面積 境界線の距離 行為の場所の着色等 【縮尺】200分の1から1,000分の1までの範囲内	☐	2部	・行為の場所を着色等で明示してください。
7	配置図	方位 敷地の境界線及び寸法 申請に係る建築行為等及び既存の建物等の位置 工作物の位置 敷地に接する道路の位置及び幅員、構造物 境界付近の隣地構造物等 給水計画・排水計画（分流方式）・ガス 盛土・切土の着色 宅地地盤高等 【縮尺】50分の1から560分の1までの範囲内	☐	2部	・敷地寸法を出来形確認測量図と合致させてください。 ・盛土部分は【緑色】、切土部分は【赤色】で着色してください。 ・最終ます、水道及びガスの取出しの有無ならびに新設、既設を明示してください。 ※最終ますを新設する場合は道路から1m以内に設置してください。 ※既設排水の取付を廃止する場合は、本管止めの表示をしてください。 ・既設宅地地盤高を変更する場合は、隣接地に影響の無いように計画してください。 ※隣接地に擁壁等構造物がある場合は、規定根入長等の確認をしてください。 ・最大張出部（軒先等）と境界までの最小距離を明示してください。 ・新たに設置する物件と既設の物件とがわかるように明示してください。
8	縦横断面図	形質変更前後の形態 盛土・切土の着色及び高さの明示 【縮尺】50分の1から200分の1までの範囲内	☐	2部	・盛土部分は【緑色】で着色し、切土部分は【赤色】で着色してください。 ・該当部分の高さを明示してください。 【土地の形質の変更、移動の容易でない物件の設置、たい積の場合に添付してください】
9	平面図	方位 各階の間取り 各室の用途 壁の位置等 【縮尺】50分の1から200分の1までの範囲内	☐	2部	・建築確認申請の図面をベースとってください。
10	立面図	最大張出部（軒先等）と境界線までの最小距離 建物の最高高さ	☐	2部	・最大張出部（軒先等）と境界線までの最小距離を2方向以上で明示してください。
11	工作物の構造図	構造詳細 隣地境界線からの離隔距離	☐	2部	
12	境界杭立会写真	全体の写真 すべての地点の写真 撮影方向図面（配置図に記録可）	☐	1部	・境界杭及び組合役員が確認できるように撮影してください。
13	立会書	（様式 有） 行為の場所 行為の種類 申請者又は代理人の住所・氏名・電話番号	☐	1部	・担当理事と現地で境界杭の有無を確認してください。 ・担当理事と側溝等の破損状況を確認してください。 ・担当理事に署名をもらってください。
14	76条申請に必要とする図書 ※1	（様式 有）本書類	☐	1部	

地番該当証明 ※1 については写しの提出で結構です。

注意：別紙「76条申請及び施工に関する注意事項」にもご留意ください。また、申請図書の返却はありませんので、あらかじめご了承ください。